

町政一般質問通告一覧表

平成28年6月定例会

平成28年6月14日

番号	質問事項 (件名)	質問の要旨	質問の相手	議席番号 氏名
1	熊本地震の被災地支援の対応について	<p>熊本地震発生後、県内の殆どどの自治体が地震発生後、被災者支援の救援物資の受付を行っているが、本町は救援物資の受付を行っていない。</p> <p>① 気象庁も観測史上、例がない大きな地震と捉えているが、今回の地震をどのように捉えているのか、また、救援物資の受付を行うべきではなかったのか。</p>	町長	6 番 平田 康範 (一問一答)
		<p>② 町民また企業や各種団体から支援物資などの被災者支援について問い合わせはなかったのか。</p>		
		<p>③ 九州地方は大きな地震はないと考えられていたが、今後も九州でも大きな地震が発生と予測され本町も救援物資を送る側から、受ける側になることも考えられる。 今後はより一層の相互扶助の精神が重要と思うが、どのような見解か伺いたい。</p>		
	本町の庁舎整備計画について	<p>① 本町の庁舎耐震強度について伺いたい。</p>	町長	
		<p>② 公共施設等総合計画の策定で、庁舎の管理計画はどのようになっているのか。</p>		
		<p>③ 本町の庁舎は、現行の耐震基準以前に建設されているが、今後の庁舎整備の基本的な考えを伺う。</p>		
		<p>④ 庁舎整備事業は町にとっては大事業となる。 庁舎整備事業に係る特別委員会を設置し、基本構想に取り組む考えはないか。</p>		
		<p>⑤ 庁舎整備には多額の財源が必要となってくる。 予算の裏付けのために目的を明確にした、庁舎整備基金を設ける考えはないか。</p>		

番号	質問事項	質問の要旨	質問の相手	議席番号
	(件名)			氏名
2	河川敷の道路整備について	佐々川の河川敷の道路の整備について再度一般質問をいたします。北部から南部までの間に河川沿いの道路で未舗装の部分がまだ残っています。散歩道路として、ウォーキングコースとして、また生活道路として舗装をするべきではないか。正興寺橋上からの両岸と佐々橋下付近、小浦大橋から海岸に出てライスセンター横に出る間が未舗装です。佐々橋下に隧道を掘ることで北部から南部までつながるが、県との協議を再度行ったらどうか。	町 長	5 番 橋本 義雄 (一括質問)
	道路整備について	歩道整備・通り抜けのできない道路の整備について再度質問いたします。設計委託料の予算措置がなされた神田線の歩道についてその後どう計画されているのか。通り抜けのできない道路で神田町内会の陳情箇所、川尻線。それから一般質問を行った脇溝線・塀の坂線を結ぶ道路についてどのように考えているのか。この道路は災害時の避難道路として大事な道路となります。	町 長	
3	たばこ対策をどのように	5月31日は、世界禁煙デーで喫煙防止、生活習慣病予防のため、たばこ対策が求められており今後のたばこ対策をどのように考えているのか。	町 長	8 番 淡田 邦夫 (一問一答)
	佐々町として防災計画をどう進めているのか	日本で多くの震災があっているが、熊本地震を受け他人事ではなくなってきたが、佐々町にも震災があった場合の対応は充分なのか。 災害に備え、各家庭で水や食料を備蓄しておく自助努力は当然大事だが、市町村も備蓄しておくダブルの備えが欠かせない。保管場所・維持管理などの費用はかかるが、熊本震災を教訓に佐々町はどのような計画をしていくのか。	町 長	
4	地震と原発について	強い揺れをくり返した今回の地震は、自然の恐ろしさを物語っています。九州全体が動いているとの学者の指摘もあり、まだ終息していない現状です。 原発の耐震基準は、強い揺れをくり返した場合を想定していないとのことです。 川内原発の停止、玄海原発の再稼働中止を国・県に求めるべきではないか。	町 長	9 番 仲村 吉博 (一問一答)